

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【公表番号】特表 2004-521960 (P2004-521960A)

【公表日】平成 16 年 7 月 22 日 (2004.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2004-028

【出願番号】特願 2003-522543 (P2003-522543)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/5575

A 6 1 P 27/06

A 6 1 P 43/00

【F I】

A 6 1 K 31/5575

A 6 1 P 27/06

A 6 1 P 43/00 1 1 2

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 4 月 23 日 (2003.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

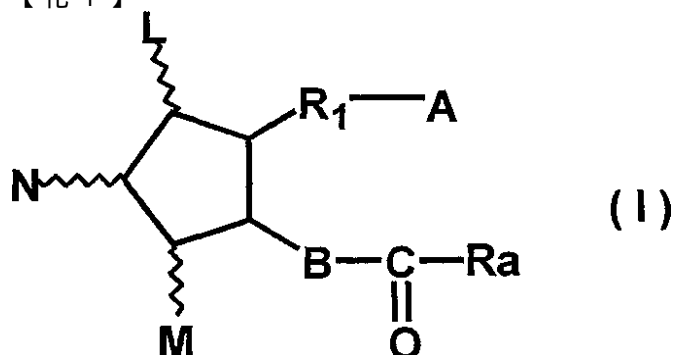
【請求項 1】

鎖末端に環構造を有する 15 - ケト - プロスタグランジン化合物を有効量含有し、対象の眼に 1 日 1 回投与される、哺乳類対象の高眼圧症および緑内障の処置用眼科用組成物。

【請求項 2】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が下記式 (I) で表される化合物である、請求項 1 に記載の組成物：

【化 1】



〔式中、L、M および N は、水素原子、ヒドロキシ、ハロゲン原子、低級アルキル、ヒドロキシ（低級）アルキルまたはオキシ（ここで L および M の少なくとも 1 つは水素以外の基であり、五員環は 1 または複数の二重結合を有していてもよい）；

A は、 $-\text{CH}_2\text{OH}$ 、 $-\text{COCH}_2\text{OH}$ 、 $-\text{COOH}$ またはその官能性誘導体；

B は、 $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ または $-\text{C}(\text{C})-$ ；

R_1 は、非置換またはハロゲン、アルキル、ヒドロキシ、オキシ、アリアルまたは複素環基で置換された飽和または不飽和 2 価低～中級脂肪族炭化水素残基であり、脂肪族炭化水素残基における 1 または複数の炭素原子は任意に酸素、窒素または硫黄原子によって置換されていてもよい；そして、

R a は、末端がシクロ（低級）アルキル、シクロ（低級）アルキルオキシ、アリール、アリールオキシ、複素環基または複素環 - オキシ基で置換された、飽和または不飽和低～中級脂肪族炭化水素残基】。

【請求項 3】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が、13, 14 - ジヒドロ - 15 - ケト - プロスタグランジン化合物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が、13, 14 - ジヒドロ - 15 - ケト - 17 - フェニル - 18, 19, 20 - トリノール - プロスタグランジン化合物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が、13, 14 - ジヒドロ - 15 - ケト - 18 - フェニル - 19, 20 - ジノール - プロスタグランジン化合物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が、13, 14 - ジヒドロ - 15 - ケト - 17 - フェノキシ - 18, 19, 20 - トリノール - プロスタグランジン化合物である、請求項 1 に記載の組成物。

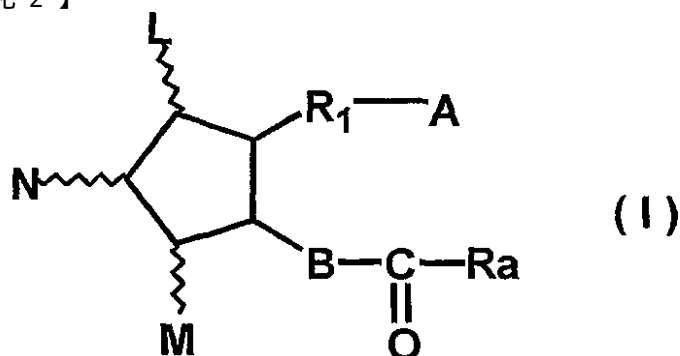
【請求項 7】

鎖末端に環構造を有する 15 - ケト - プロスタグランジン化合物の、哺乳類対象の高眼圧症および緑内障の処置用眼科用組成物の製造のための使用であって、該組成物が対象の眼に 1 日 1 回投与されるものである使用。

【請求項 8】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が下記式（I）によって表される化合物である、請求項 7 に記載の使用。

【化 2】



〔式中、L、M および N は、水素原子、ヒドロキシ、ハロゲン原子、低級アルキル、ヒドロキシ（低級）アルキルまたはオキシ（ここで L および M の少なくとも 1 つは水素以外の基であり、五員環は 1 または複数の二重結合を有していてもよい）；

A は、 $-\text{CH}_2\text{OH}$ 、 $-\text{COCH}_2\text{OH}$ 、 $-\text{COOH}$ またはその官能性誘導体；

B は、 $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ または $-\text{C}-\text{C}-$ ；

R₁ は、非置換またはハロゲン、アルキル、ヒドロキシ、オキシ、アリールまたは複素環基で置換された飽和または不飽和 2 価低～中級脂肪族炭化水素残基であり、脂肪族炭化水素残基における 1 または複数の炭素原子は任意に酸素、窒素または硫黄原子によって置換されていてもよい；そして、

R a は、末端がシクロ（低級）アルキル、シクロ（低級）アルキルオキシ、アリール、アリールオキシ、複素環基または複素環 - オキシ基で置換された、飽和または不飽和低～中級脂肪族炭化水素残基】。

【請求項 9】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が、13, 14 - ジヒドロ - 15 - ケト - プロスタグランジン化合物である、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 10】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が、13, 14 - ジヒドロ - 15 - ケト - 17 - フェニル - 18, 19, 20 - トリノール - プロスタグランジン化合物である、請求項7に記載の使用。

【請求項 11】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が、13, 14 - ジヒドロ - 15 - ケト - 18 - フェニル - 19, 20 - ジノール - プロスタグランジン化合物である、請求項7に記載の使用。

【請求項 12】

15 - ケト - プロスタグランジン化合物が、13, 14 - ジヒドロ - 15 - ケト - 17 - フェノキシ - 18, 19, 20 - トリノール - プロスタグランジン化合物である、請求項7に記載の使用。